

カトリック 三田小教区報

2026年 2月号(No. 280)
三田市屋敷町8-15 TEL 079-562-4404 FAX 079-562-9404
発行責任 神田 裕神父 編集: 宣教委員会広報部

“たきび”

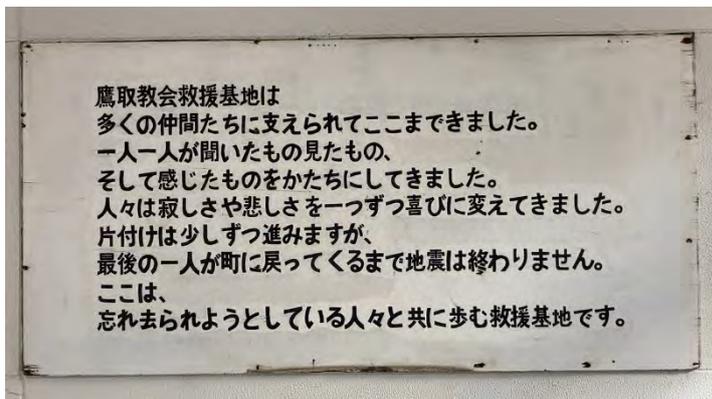
31年前の震災当日 まちは潰れ まちは燃えた 焼け跡の教会での生活が始まった 夜は暗闇が続いた ただ一つ 闇夜に光る“たきび”が生きる勇気をもたらしてくれた “たきび”の周りを囲んだ 暖かい 冷えた体は温まり希望への一步を踏み出した 情報が遮断された町の真ん中で 一人また一人と“たきび”に集まってきた 食べ物や飲み物、衣類なども集まってきた 周りに目をやって必要なところへ届けよう 救援基地が始まった

ヘルメットとタオルを付けたキリスト(像)が率先して働いた 避難場、公園のテント村、仮設住宅などへと出かけて行った 聞いてきた要望を形に変えてきた 医療従事者たちのネットワークで“まちの保健室”も立ち上がった 多言語での情報伝達のツールとしてコミュニティFM 放送局も立ち上がった “たきび”に吸い寄せられるかのように人々の優しさが結集し始めた

次第に焼け跡に家も建ち始めた しばらくして 近所に戻ってきた人に叱られた 焚火は環境に良くないと 確かにそうだ 非日常から日常へと移りつつあった どん底から私たちを支えてきた“たきび”は 残念ながらその役割を終えた と思ったがそうではなかった

“たきび”の炎はたかとりを集う人々の中で燃え続けた たかとりコミュニティセンターが2000年に立ち上がり新たな“たきび”となった リーフグリーン エフエムわいわい ベトナム夢KOBÉ ひょうごんテック アジア女性自立プロジェクト 多言語センターFACIL ひょうごラテンコミュニティ 神戸少年の町児童家庭地域支援室 野田北ふるさとネット たかとり教会がそれぞれに“たきび”の周りに集まり31年目を迎える

“たきび”と共に歩んできた“たかとり救援基地”はこれからも薪をくべ続けるだろう



たかとり救援基地 神田裕
たきび 132号 2026/1/17

2月教会行事			※ミサ前、各自で静かに祈って下さい。 ※週日(水・金)のミサ:9時30分(司祭不在時はありません)
1	日	年間第4主日 〔一粒会献金〕	ミサ:午前9時30分 【司祭召命を求める祈り】 清掃当番:東・北(聖堂廻り)／西(敷地外周)／中(聖堂)／南(トイレ)
2	月	主の奉献の祝日	
3	火	福者ユスト高山右近殉教者	
4	水		
5	木	日本26聖人殉教者の祝日	
6	金		
7	土		福者ユスト高山右近殉教者列福祈願のつどい・ミサ 午後1時30分 於:カトリック大阪梅田教会(サクラファミリア)
8	日	年間第5主日 教区新教会建設献金の日	ミサ:午前9時30分 【福者ユスト高山右近殉教者の列聖を求める祈り】 清掃当番:東・北(敷地外周)／西(聖堂)／中(トイレ)／南(聖堂廻り) ポルトガル語ミサ:午後3時
9	月		
10	火		
11	水	世界病者の日 〔建国記念の日〕	
12	木		
13	金		
14	土		
15	日	年間第6主日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(聖堂)／西(トイレ)／中(聖堂廻り)／南(敷地外周) 地区集会
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		
20	金		
21	土		
22	日	四旬節第1主日	ミサ:午前9時30分 【四旬節の祈り】 清掃当番:東・北(トイレ)／西(聖堂廻り)／中(敷地外周)／南(聖堂)
23	月	〔天皇誕生日〕	
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		広報印刷日

※ 3月のミサの朗読・共同祈願担当地区は → 南地区です。

2026年「第34回世界病者の日」 レオ14世教皇メッセージ <2月11日>

テーマ「サマリア人のあわれみ ― 他者の苦しみを担いながら愛する」

※司祭館・信徒館建設及び新型コロナウイルス感染症対策などで、行事等が中止になる場合があります。